

2024年12月10日

味の素(株)、令和6年度「モーダルシフト優良事業者賞」 (連携・協働部門)を受賞

～味の素食品(株)、F-LINE(株)とともに持続可能な物流体制の実現へ～

味の素株式会社(社長：藤江 太郎 本社：東京都中央区)はこの度、味の素食品株式会社(社長：望月 俊之 本社：神奈川県川崎市、以下味の素食品社)、F-LINE株式会社(社長：坂本 次郎 本社：東京都中央区、以下F-LINE社)とともに、一般社団法人日本物流団体連合会が選出する令和6年度モーダルシフト優良事業者大賞表彰において、「モーダルシフト優良事業者賞」(連携・協働部門)を受賞しました。

本賞は、一般社団法人日本物流団体連合会が創設した、モーダルシフト取り組み優良事業者を公表・表彰する制度で、「モーダルシフト優良事業者賞」(連携・協働部門)は、荷主や物流事業者等の連携・協働により、貨物、輸送区間、輸送モード等を広く組み合わせて、多くの関係者を包含するモーダルシフトの仕組みを構築した事業者の中で、特に秀逸な成果を達成した事業者に対して授与されるものです。

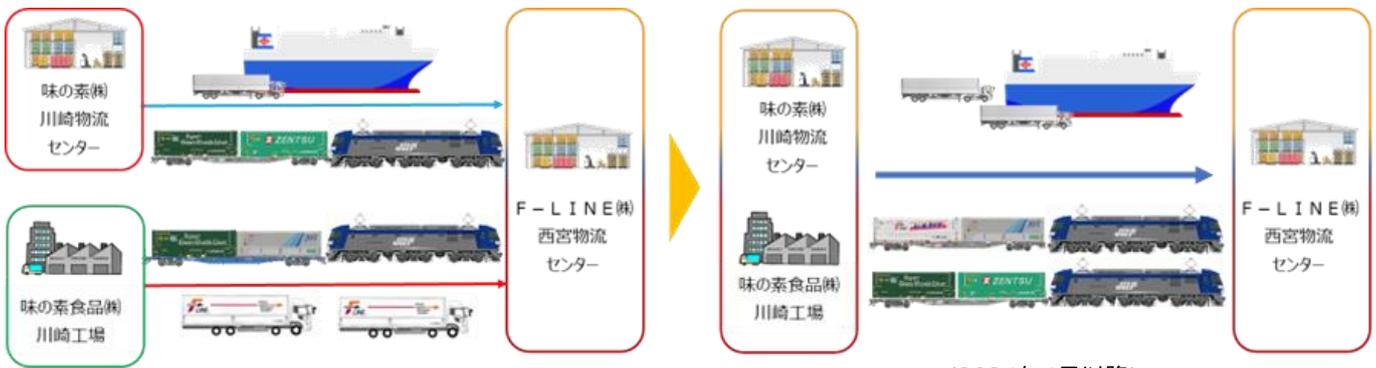
今回の受賞では、荷主である当社、味の素食品社と物流事業者であるF-LINE社、船舶会社との連携・協働により、主要輸送区間の完全モーダルシフト化を実現し、物流課題であるトラック人材不足解消や環境負荷低減への貢献が認められました。



「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」
表彰式にて
当社物流企画部長 森 正子(右)

味の素グループでは、物流業界におけるトラックドライバー不足や環境負荷の問題に早期から取り組み、製品等の輸送方法をトラックなどの自動車輸送から鉄道や海上輸送といった環境負荷が少ない方法へ転換するモーダルシフトの活動を行っており、2024年4月から9月における、当社の全国500Km以上の幹線輸送でのモーダルシフト率は約97%となっています。

今回の取り組みでは、主力生産・物流拠点である味の素食品社川崎工場、当社川崎物流センター(ともに神奈川県)とF-LINE社西宮物流センター(兵庫県)を結ぶ主要区間の輸送において、当社が先行し進めていたモーダルシフト化を味の素食品社からの出荷にも展開し、鉄道と船舶の増便により2024年4月に完全モーダルシフト化を達成、味の素食品社は前年と比較しCO2排出量を約80%削減することができました。



＜従来＞
一部自動車輸送を利用

＜2024年4月以降＞
全て鉄道や海上輸送にシフト

味の素グループは今後も物流領域において環境や人材に関する課題に向き合い、持続可能な物流体制を構築し、人・社会・地球のWell-beingに貢献していきます。

味の素グループは、“Eat Well, Live Well.”をコーポレートスローガンに、アミノサイエンス®で、人・社会・地球のWell-beingに貢献し、さらなる成長を実現してまいります。

味の素グループの2023年度の売上高は1兆4,392億円。世界34の国・地域に拠点を置き、商品を販売している国・地域は130以上にのぼります(2024年現在)。詳しくは、www.ajinomoto.co.jpをご覧ください。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：[Pr_media](#)